

令和2年度(2020年度) 第2回 熊本市建築審査会 会議録(要旨)

開催日時	令和2年(2020年)8月28日(金) 午後3時から				
開催場所	熊本市教育センター 3階 第2研修室				
出席者	委員	大日方会長 宇野委員 田中委員 古賀委員 加来委員 今坂委員 原井委員			
	事務局	能勢総括審議員(幹事)、小山建築指導課長(幹事)、村上課長補佐(幹事)、野口技術主幹兼主査(書記) 城本主査(書記)、野津主任技師(文責)、川上技師、馬田技師			
	その他				
議題	審議案件	建築基準法第59条の2の規定に基づく許可の件 【中央区辛島町 (仮称)日本生命熊本ビル】			
公開・非公開	公開	非公開理由		傍聴人数	— 名
議決事項	案件に同意する				
議事概要	<p>案件について審議し、本計画は政令に定める空地や敷地面積を有し、以下のことから交通上、安全上、防火上及び衛生上支障がなく、市街地の環境の整備改善に資すると判断した。</p> <p>【交通上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の出入口を南側道路(幅員27m)に設けると共に、左折IN左折OUTの計画 ・入庫待ちの際に、道路内での滞留をつくらないように、敷地内に待機スペースを2台確保 ・敷地内からの出庫がわかるように道路側から見える位置に出庫灯を設置 ・出庫時に歩行者や通行車両等を視認できるように、死角のない安全な出入口空間を確保 ・道路沿いに空地等の歩行空間を整備する事により歩行者の安全性向上 ・歩道と公開空地の間には段差を設けず、歩行面は粗面仕上げで転倒防止 <p>【安全上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐火建築物であり、高い防火性能 ・免震構造により地震時の倒壊防止 ・外部建具には、エッジクリアランスを設け、地震等によるガラスの破損・建具の滑落防止 ・低層部のガラスには飛散防止フィルムを張り、車両等の衝突によるガラスの飛散を防止 ・屋外階段と屋内階段を両端に設置し、安全性の高い二方向避難の確保 ・避難計画の作成および避難訓練を定期的実施し、スムーズな避難活動 ・防潮板を設置し、洪水等に外部の水が建物内への侵入を防ぎ、水害時のリスクを軽減 ・備蓄倉庫を整備(200人/日、3日分以上の備蓄品を常備) ・72時間以上稼働する非常用電源設備の整備 (1階グランドエントランスに10か所の非常用コンセントを設置し、緊急時に提供可能) <p>【防火上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐火建築物であり、高い防火性能 ・周囲に道路や都市計画公園といった広い空地があり、敷地内にも空地確保する事で延焼防止に寄与 ・全館スプリンクラー設置により安全性の高い消火活動(初期消火)が可能 ・周囲に公共消火栓があり、火災時に対応可能(消火範囲:半径140m/箇所) ・連結送水管を設置し、高層階の消火活動が可能 <p>【衛生上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地内に公開空地を確保することで、周辺への採光・通風に配慮 ・テナントが使用するゴミ置場を屋内駐車場に隣接した屋内設置とすることで敷地外部から見えない計画とし、臭気等の衛生上に配慮 ・免震構造部の地下ピット内に流入した雨水はポンプアップし公共下水道へ排出 <p>【市街地環境の改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開空地の確保による市街地環境整備への貢献 ・免震構造や災害発生時の帰宅困難者対策(備蓄倉庫等の整備)の実施 ・中心市街地に不足している高機能オフィスを整備 ・CASBEE熊本Aランク採用による環境負荷軽減 ・市電通り側等に植栽や壁面緑化を確保する事で緑の空間を創出 				
備考	・歩道状公開空地の舗装面(縁石含む)の素材について、転倒防止等を考慮し選定に努めること。				